

リース方式による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成14年度認定）
 地区名：愛知県豊川市豊川地区
 事業主体：ひまわり農業協同組合
 管理主体：各施設利用組合
 施設名：複合経営促進施設 34棟34,329.08㎡（H14～16）
 事業費：658,341千円（国費：313,495千円）

1. 各組織の概要

組織名	豊川地区トマ ト・メロン施 設利用組合	豊川地区いち ご施設利用組 合	豊川地区洋花 施設利用組合	豊川地区スプ レー菊施設利 用組合	豊川地区バラ 施設利用組合
構成員	3名	4名	3名	9名	3名
設立年月日	H14.8.6	H14.8.30	H15.7.31	H15.9.30	H16.3.22
業務内容等	各農産物(トマト・メロン、いちご、洋花、スプレー菊、バラ)の生産・販売を行う。 野菜苗(キャベツ)の育成を行い、地区内の露地野菜農家へ安定した苗供給を行う。				
連絡先	ひまわり農業協同組合 中部営農センター 0533-85-1234 http://www.ja-himawari.com/				

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

豊川地区においては、都市化の進展により農家戸数の減少(H7:1,565名 H12:1,536名)、高齢化が進み担い手不足が進行していた(基幹男子農業専従者のいる農家H7:431戸 H12:385)。

一方、施設園芸農家の中には規模拡大による経営の安定を図る農家がいるものの、初期投資が過大となることから規模拡大に踏み切れないでいた。

(2) 取組概要

平成14年度から経営構造対策事業により整備した複合経営促進施

設(トマト、いちご、洋花、スプレー菊、バラ栽培)を意欲ある農家にリースすることにより、効率的・安定的な農業経営体の育成を支援しているところである。

このような取り組みの結果、事業実施2年度目にして認定農業者が74名から95名に大幅に増加したところである。

現在、リース参加者を中心とした高収益のトマト・メロン等の施設栽培による担い手の確保等を推進することにより、当地区の抱える課題の解消に取り組んでいるところである。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の 解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標割 合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加率 %	計画時 (ha)	目標 (ha)
74	124	167.6	8.1	8.1	(8.7%)	(39.0%)	30.3	0.0	0.0
					119.0	533.0			

(2) 地区選択目標

農産物の新規販路の拡大		家族経営協定の締結	
計画時(千円)	目標(千円)	計画時(戸)	目標(戸)
1,000	25,000	3	9

整備施設

施設全景



施設内部(スプレー菊の栽培)

